

6月1日 | 思わず歓声上がる季節が到来

春バラが見頃を迎えた「ばらの丘公園で」今年も恒例の「島田ばらの丘フェスティバル」が開催され、園内はカラフルな花と優雅な香りに包まれました。

1.9haの同園には、世界各地のバラが植栽されており「ミスシマダ」など、島田生まれのバラも楽しめます。期間中、この春に誕生したマスコットキャラクターの「ばらみちゃん」も登場。来園者に、たくさんの笑顔を届けました。



5月5日 | 入館者数が10万人を達成

昨年8月、市街地交流拠点施設「おび・りあ」4階にオープンした市こども館「プレイルームぼるね」の入館者数が10万人を突破し、記念式典が行われました。

記念すべき節目の入館者は、三重県鈴鹿市から訪れた前田さん一家。式典には「えい茶いくん」や「チャリムくん」も駆け付け、一緒にくす玉を割り、当初の予測よりも3カ月早い10万人達成を祝いました。

5月26日 | 市民の手で盛り上げる郷土の宝

蓬莱橋を、色とりどりのぼんぼりで彩る「蓬莱橋ぼんぼり祭り」が開催され、多くの来場者の目を楽しませました。

20年目となる今年も、近隣住民や絵手紙教室の生徒らが、約160個のぼんぼりを手作りで制作。橋の上や河川敷では、歌や踊りが繰り広げられ、市民の手で「世界一の木造歩道橋」をさまざまな形でPRしました。日没後は、ぼんぼりに明かりが灯され、蓬莱橋は幻想的に浮かび上がりました。





5月20日 | ご当地ソングで島田市を発信

歌手の山本讓二やまもとじょうじさんが、島田市観光大使に就任し、地域交流センター「歩歩路」で委嘱状が交付されました。

就任のきっかけは、山本さんが昨年11月に発売した新曲「蓬萊橋」。交付式で曲を披露した後、市内の観光名所を巡り、地元住民やファンと握手や写真撮影で交流しました。大使の任期は2年間。山本さんは、ご当地ソングで島田市を盛り上げてくれることを、約束してくれました。

5月19日 | 環境を守る身近な科学

子どもたちに、自然環境保全への関心を深めてもらおうと、元東海大学海洋学部教授の中山隆雄なかやまたかおさんを講師に招き「地球を守る子ども科学実験隊」の第1回講座が、金谷公民館で開催されました。

今回は「きれいな水を作ろう」をテーマに、活性炭や光触媒で色水を浄化。参加した児童たちは、簡単な仕組みで水がきれいになる様子を、真剣に観察していました。



しまだトピックス

稲崎さんが津軽三味線で優勝

5月4日、青森県五所川原市で行われた「第25回津軽三味線全日本金木大会」で、稲崎晴也いなざきはるやさん（初倉中学校1年生・船木）が、個人の部C級（経験5年以下）で優勝の栄冠に輝きました。

同大会は国籍・流派・門下に関わらない個性が評価されます。稲崎さんは「優勝経験を増やし、人を笑顔にしていきたい」と今後の目標を語ってくれました。